

教科等のねらい

- ・美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛する心情を育てる。
- ・美術の基礎的な技能を身に付け、美術文化についての理解を深め豊かな情操を養う。

主な指導内容

- ・表現 …経験や想像を基に、絵を描いたり作品を作ったり、それらを飾ったりすること
- ・材料・用具 …様々な材料や用具の扱い方を理解して使うこと
- ・鑑賞 …自然や造形物を鑑賞し、美しさなどを味わい、地域の工芸品などに関心をもつこと

評価方法

- ・評価は4観点(①「美術への関心・意欲・態度」、②「発想や構想の能力」、③「創造的な技能」、④「鑑賞の能力」)を設定し、複数の目で評価を行う。
- ・作品については評価規準を設定して評価する。

指導計画

月	題材名	指導内容(◎重点)	主な学習活動	評価の観点
4～9	「グラデーションを取り入れた飾りづくり」 (デザイン)	◎配色の計画 (大まかなデザイン案) ○切る、貼る、塗る	・色の規則的な変化(グラデーション)を取り入れた着色をする。 ・動物や植物をデザインに取り入れた飾りを作る。 ・マスキングテープや型紙を使い、型抜きをする。	①③ ② ③
	「木製パネル作り～作品を入れて飾ろう～」 (木工芸)	○木材の加工 *魚沼杉の活用 ○伝統工芸の鑑賞	・木材を接着してパネルの形を作る。 ・パテ埋め、ヤスリがけ、ワックスがけでパネルの仕上げをする。 ・魚沼ブランドなどの地域の伝統工芸を知る。	① ③ ④
	「いじめ撲滅ポスター」 (デザイン)	○テーマに合ったイメージの表現 ○画面構成の計画 (大まかなデザイン案 *文字の配置)	・インターネットなどを用いて、イメージに合う画像を探す。 ・標語の文字を円などの図形に置き換えて大まかなデザイン画を描く。	① ②③

10～ 12	「共同制作～ 巨大モザイク アート～」 (鑑賞・絵画)	○見る、感じる	<ul style="list-style-type: none"> ・日本画、西洋画等の代表的なモザイク画を画像で鑑賞する。 ・江戸時代の日本画の完成を予想して、分担された「榊目描き」をしてモザイク片を完成させる。 	④ ③
	「働く姿～あ こがれのユニ ホーム～」 (彫塑制作)	◎曲げる、つける。	<ul style="list-style-type: none"> ・人物を表す絵や彫刻から表現の工夫を学ぶ。 ・写真を基にして造形制作をする。 (アルミの針金、ヒモ、紙粘土) 	①②③ ③
1～3	「トミオカホ ワイト風 冬 のやいろ原」 (絵画制作)	○モノトーンの表現 (塗る、消す、こする) ○PCタブレットの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の画家、富岡惣一郎の作品を参考に、白黒で表現する風景画を描く。 ・コンテで塗りつぶした画面を消しゴムで消したり、再び塗りつぶしたりを行い、色の濃淡を作り出す。 ・撮影した写真を参考にして描く。 	④ ②③ ③

※余暇活動にもつながるように、身近な文具店等で購入できるような教材・教具選びに努める。

教科等のねらい

・美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛する心情を育てるとともに、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め豊かな情操を養う。

主な指導内容

・表現 …経験や想像を基に、絵を描いたり作品を作ったり、それらを飾ったりすること
 ・材料・用具 …様々な材料や用具の扱い方を理解して使うこと
 ・鑑賞 …自然や造形品を鑑賞し、美しさなどを味わい、地域の工芸品に関心をもつこと

評価方法

・評価は4観点（①「美術への関心・意欲・態度」、②「発想や構想の能力」、③「創造的な技能」、④「鑑賞の能力」）を設定し、複数の目で評価を行う。
 ・作品については評価規準を設定して評価する。

指導計画

月	題材名	指導内容（◎重点）	主な学習活動	評価の観点
4～7	「絵の具の扱い方検定」	○色の3原色 ◎絵の具の混色（筆など道具の扱い方）	・3原色を基準に「色味」を学ぶ。 ・水彩用具の扱い方の基本を学ぶ。 ・3原色で、様々な色を作る。 ・模写（塗り絵）で学びを確かめる。	① ③
	「いじめ撲滅ポスター」「（デザイン）」	○テーマに合ったイメージの表現 ○画面構成の計画（大まかなデザイン案 *文字のデザイン、配置）	・インターネットを用いて、参考となる画像などを検索する。 ・標語の文字を円などの図形に置き換えて大まかなデザイン画を描く。 ・文字のフォント（デザイン例）を参考にして描く。	②③ ② ①③
	「ボックスアート～虹色の装飾～」 （木工芸/デザイン）	○色の構成による効果 ◎木材加工 ・切る、削る、接合する ・着色（下地塗り、マスキング） ○伝統工芸の鑑賞	・色の規則的変化（グラデーション）を取り入れた着色をする。 ・手順を整理して計画的に制作をする。 ・紙やすり、ボンド、ドライバー等道具を使う。 ・アクリル絵の具の扱い方を知る。（透明色、不透明色の絵の具の違い） ・作品を鑑賞しあい、感想を発表する。 ・魚沼ブランドなどの地域の伝統工芸を知る。	①③ ①②③ ③ ③ ④ ④

8～ 9	「2色で表す ピクトグラム ～食べ物のマ ークづくり～」 (デザイン)	○象徴する形 (マーク) ○マーク制作 ・食べ物のデザイン化 ・紙の加工	・身近にある標識などの意図する内容について知る。 ・身近な食べ物を、切り絵にできるような形に単純化する。 ・アートナイフで切り抜きをする。 ・色画用紙の色を選び貼り合わせる。 ・他者にマークの内容が伝わっているかをアンケート等で確かめる。	① ①②③
10～ 12	「働く姿」 (彫塑制作)	◎素材の特性理解	・人物を表す絵や彫刻などから様々な表現の工夫を学ぶ。 ・イメージをまとめたデッサンを基にして造形制作をする。	①②③ ③
2～3	「トミオカホ ワイト風 冬 のやいろ原」 (絵画制作)	○モノトーンの表現 (塗る、消す、こする) ○PCタブレットの活用	・地域の画家、富岡惣一郎の作品を参考に、白黒で表現する風景画を描く。 ・コンテで塗りつぶした画面を消しゴムで消したり、再び塗りつぶしたりを行い、色の濃淡を作り出す。 ・撮影した写真を参考にして描く。 ・画面を柵目状に分割し、山並みや建物の位置関係を確認しながら描く。	④ ②③ ③ ②

※余暇活動にもつながるように、身近な文具店等で購入できるような教材・教具選びに努める。